

# 化学と教育

第72巻 第10号 2024年 目次

## ヘッドライン 化学と社会をつなぐ

科学技術が発展し、その恩恵が社会に還元されるには、専門家だけでなく、専門外の一般市民の理解を得ることが重要である。現在、インターネットを利用して専門外の人々がこのような科学技術情報に比較的容易に触れられるようになった反面、誤った情報も氾濫しており、一般市民が自力で適切な情報を入手し、理解するには相応の科学技術リテラシーが求められる。そのような中、専門家の間だけでなく、広く一般市民にも科学技術を正しく、わかりやすく伝えるサイエンス（科学技術）コミュニケーションの重要性が注目され、我が国でも2000年代初頭より多様なサイエンスコミュニケーション活動やそのための人材養成など様々な取り組みが行われている。本ヘッドラインでは、科学を広く社会に伝えることの重要性やその意義、実践例などについて解説・紹介する。

サイエンスコミュニケーションの意味と来歴	渡辺 政隆	396
北海道大学 CoSTEP における科学技術コミュニケーション	川本 思心	400
1人でも多くの人に科学の“わくわく”を伝えるべく	河野 弘幸	404

◆ 化学教育 徒然草		
議論する力を養う化学教育 森田 明弘		393
◆ 実験の広場		
ビギナーのための実験マニュアル		
硫酸銅(II)水溶液の電気分解を用いて銅イオンの価数を求める 齊藤 太郎		408
SSH ただ今活動中!		
北杜市立甲陵中学・高等学校 SSHの取り組み 中畷 健司		410
◆ 新・講座：化学工業製品はどのように作られるのか?		
①ヘテロポリ酸触媒を利用した酢酸エチルの製造技術 奥村 吉邦, 板垣真太郎		412
②サステイナブル界面活性剤バイオ IOS 野村 真人		416

## 表紙の言葉 山梨県立韮崎高等学校

右側に写っているのは、本校卒業生・大村智先生が2015年にノーベル生理学医学賞受賞の記念碑です。サッカー元日本代表の中田英寿さんをはじめ、多くのアスリートも輩出している山梨県立韮崎高等学校は、運動部、文化部の大会に近隣の住民も応援に来るほど地域に愛された学校で、「百折不撓」の校訓の下、今も変わらず文武両道に励んでいます。SSH指定校となってからはさらに世界で活躍できる人材の育成を目指し、日々取り組んでいます。

### ◆ 研究ノート

水溶液からの亜鉛フェライトの合成とスルホサリチル酸比色定量法による組成分析

高田 知哉, 原子 藍花..... 420

◆ Chemical Bonds 支部/教育・普及部門だより..... 422

### ◆ Color Gallery

ヘッドライン 1人でも多くの人に科学の“わくわく”を伝えるべく 河野 弘幸..... 口絵 17

実験の広場 硫酸銅(II)水溶液の電気分解を用いて銅イオンの価数を求める 齊藤 太郎..... 口絵 17

新・講座 ヘテロポリ酸触媒を利用した酢酸エチルの製造技術  
奥村 吉邦, 板垣真太郎..... 口絵 18

新・講座 サステイナブル界面活性剤バイオ IOS 野村 真人..... 口絵 18

### 会告

#### △ 日本化学会から

化学の日・化学週間2024..... 424

■ お詫びと訂正..... 441

■ 求人..... 443

■ 行事一覧..... 442

■ 編集後記..... 448

次号ヘッドライン

化学研究における機械学習の活用